

平成 25 年度 「静岡大学 地域連携応援プロジェクト」 公 募 要 領

静岡大学イノベーション社会連携推進機構
地域連携生涯学習部門

1. 趣旨

静岡大学の学生・教職員はさまざまな地域連携活動をしていますが、表面に現れるのはごく一部です。それらの活動を活性化し、より地域との距離を縮め、地域と連携した静岡大学になるよう、本機構はみなさまのお手伝いをし、また学内外に活動を紹介していきたいと考えています。

地域社会とともに歩む自主的な姿勢を期待し、その活動を支援させていただきたく、「静岡大学 地域連携応援プロジェクト」として、次のような活動を募集します。

2. 支援対象となる活動のテーマ・内容

“地域社会と連携し、地域の活性化につながる活動”

静岡大学の学生・教職員が主体となり、すでに地域団体や自治体等と協働で取り組んでいる、または、新たに取り組もうとする地域の活性化につながる活動などを対象とします。

(例) 保健・福祉、社会教育、まちづくり・まちおこし、学術・文化・芸術又はスポーツの振興、環境保全、安心安全、国際化、人材育成等の活動 など。

4. 支援額及び採択件数 (予定)

支援額：1 プロジェクトにつき 25 万円を上限とします (支援総額：150 万円以内)。

採択数：10 件程度

5. 支援対象経費

- ◆謝金：講演会等の講師謝金等
- ◆旅費：交通費・宿泊費等
- ◆印刷費：ポスター及びチラシ、報告書製本印刷費等
- ◆会議費：学外施設の会場使用料等
- ◆消耗品：事務用品 (用紙)、製作用資材費等
- ◆保険料：イベント・レクリエーション保険料

6. 応募資格

- ◆静岡大学の学生・教職員で構成するプロジェクトグループであること。ただし、学生のみのグループでは応募できません。必ず教職員を代表者としてください。(静岡大学の学生・教職員以外の学外の方をメンバーとすることは可能です)
- ◆企画した活動を、終了まで責任を持って遂行できること。
- ◆年度末に成果報告書を提出すること。
- ◆適切な予算管理を行うこと。

7. 応募方法

①書類の提出

各部局の総務担当で取りまとめの上、電子データをご提出ください。

・地域連携応援プロジェクト申請書 (様式 1)

記入例を参考に、必要事項を記入してください。

なお、申請書様式は以下ウェブサイトからも入手することができます。

<http://www.lc.shizuoka.ac.jp/news00055.html>

・プレゼン資料 (PowerPoint 資料・8 スライドまで)

プロジェクトの内容を説明する資料を作成してください。

②提出先

イノベーション社会連携推進機構 地域連携生涯学習部門

E-mail ochiiki@ipc.shizuoka.ac.jp

③応募締切

平成 25 年 5 月 13 日 (月) 17 時必着

8. 審査

①書類審査（5月中下旬）

【審査方針】

- ◆計画内容や実施方法が、活動の目的に沿って具体的かつ明確に設定されているか。
- ◆地域社会において活性化を図ろうとする分野が明確化され、かつ実現性の確保に適切な配慮がなされているか。
- ◆自治体・地域住民・NPO等と協働し、組織的な連携を図る取り組みとなっているか。
- ◆参加者にメリットがあるだけでなく、地域に対して活動の成果を還元するような波及効果が期待できるか。
- ◆地域における活動が、活動する団体等の構成員の、地域貢献に対する意識の向上につながっているか。
- ◆経費の使用目的が妥当なものとなっているか。

②採否

静岡大学イノベーション社会連携推進機構・地域連携生涯学習部門企画実施委員会委員ほか学外の地域社会関係者等からなる審査会で審議した結果をもとに、イノベーション社会連携推進機構・地域連携生涯学習部門長が採否を決定します。

③結果通知（6月上旬）

応募いただいた方全てに採否をメールでお知らせします。

9. 予算執行

結果通知後、6月末までに予算を各学部等に配分します。採択決定後、各学部等事務担当者におかれましては、予算配分先の経理コードをご連絡くださいますようお願いいたします。

【注意事項】

今年度より、本プロジェクト予算は各学部等へ直接配分いたしますので、各学部等事務担当者にて経理処理をお願いいたします。ついては、別紙「経費執行上の注意」をご確認ください。

10. 事業報告

- ◆以下2種類の報告書を提出いただきます。（提出締切：平成26年3月10日（月）予定）
 - ①報告書（様式2）
 - ②成果報告書（冊子）の原稿
- ◆活動の評価が高く、次回の公募の際に参考とさせていただきたい場合、次年度に開催する公募説明会にて報告をお願いすることがあります。

11. その他

- ◆申請内容が本機構ではなく他のセンターや部局等の支援を受けた方がよいと判断される場合は、そちらでの支援をいただくよう照会することがあります。その場合、実際に支援を行うか否かは照会先の判断になります（例えば、内容が防災関係である場合、防災総合センターに支援検討を依頼することがあります。）
- ◆予算に限りがあり、要求額に満たない配分となる場合がありますがご承知おきください。
- ◆申請の際には、過去の報告書や公募説明会を参考にしてください。

・平成23-24年度地域連携応援プロジェクト成果報告書（以下ウェブサイトに掲載）
http://www.lc.shizuoka.ac.jp/publication_list.html

・公募説明会／前年度成果報告会
日時：平成25年5月9日（木）13:00～14:45
場所：静岡・共通教育A棟3階301教室
浜松・イノベーション社会連携推進機構棟1階 カンファレンスルーム

【FAQ】

Q:経費はどのように使えるのでしょうか？

A:支援する経費は、光熱水料や備品、飲食などには使うことができません。
疑問点がありましたら、遠慮なくご相談ください。

Q:経費はどのような形でいただけるのでしょうか？

A:経費を現金の形で直接お渡しいたしません（運営費交付金での伝票処理となります）。
各学部等に配分した経費の管理は、各学部等で行っていただきますので、必要な物品がある場合や会場を借りる際は、事前に各学部等事務担当者に連絡してください。

Q:経費を使用する上で注意することはありますか？

A:学生が出張に行く際には特に注意が必要です。教職員は通常どおりの出張の処理をしますが、学生が出張に行く際の交通費については立替をしていただき、後日実費を請求していただくことになります。請求いただく際には、領収書が必要ですので必ず発行してもらってください。また、お支払する額は、常識的に考えられる経路での交通費となりますのでご注意ください。
旅費に限らず、不明なことがありましたら、必ずご相談ください。

Q:取り組みを行う中で、金銭的な収益を得てもいいのでしょうか？

A:本プロジェクトは営利事業を支援するものではないため、収益が発生する取り組みは対象外とします。

Q:活動にあたって、保険加入は必要でしょうか？

A:保険には加入していただくことをお勧めします。個人向けの「学生賠償責任保険」などは個人負担ですが、イベント保険のような個別の活動に必要な保険は予算計上して結構です。

その他、ご不明な点がありましたら、下記担当者までご連絡ください。

静岡大学 学術情報部研究協力課研究支援係

E-mail ochiiki@ipc.shizuoka.ac.jp

電 話 054-238-4317